

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	糖尿病患者における膵癌発生リスクに関する後ろ向き観察研究（二次調査）
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2017年1月～2021年12月において、日本糖尿病学会認定教育施設Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、および教育関連施設における糖尿病患者のうち、膵癌を合併した患者さん。
③概要	<p>膵癌は予後不良であり、予後を改善するには早期診断が重要ですが、有効なスクリーニング方法がありません。膵癌と糖尿病は強い関連性が示されており、膵癌での糖尿病の合併率は他臓器の癌に比べて有意に高いと報告されています。糖尿病に注目した膵癌の効率的なスクリーニングの確立をめざし、本邦での糖尿病に合併した膵癌患者の実態を明らかにします。</p> <p>糖尿病患者のうち、膵癌を合併した方のカルテに記載された既存の情報（患者背景、糖尿病の病歴・治療内容、膵癌の病歴・理学所見・検査データなど）を調査票に記載し、下記研究機関に提供され、統計学的に解析されます</p>
④申請番号	D2023-0002
⑤研究の目的・意義	糖尿病に合併した膵癌患者の実態を明らかにすることで、膵癌の早期診断につながる膵癌の効率的なスクリーニング法の確立をめざします。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2027年9月30日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	カルテに保存されている患者背景、病歴、理学所見、検査データなどを統計学的に解析します。使用するデータは個人が特定されないようにして（匿名化）調査票に記載され、東北大学大学院医学系研究科に送付、管理・解析されます。
⑧利用または提供する情報の項目	性別、喫煙・飲酒歴、膵疾患の既往、膵癌の家族歴、糖尿病の分類・治療法、糖尿病診断から膵癌診断までの期間、膵癌の診断契機や症状、膵癌診断時の病期など
⑨利用する者の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科 山田貴穂 東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学 正宗淳
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学大学院医歯学総合研究科 血液・内分泌・代謝内科 曾根博仁 東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学 正宗淳
⑪お問い合わせ先	所属：血液・内分泌・代謝内科 氏名：山田貴穂 Tel：025-368-9026 E-mail：t-yamada@med.niigata-u.ac.jp